

桜川市議会だより

桜川市議会は 11 月 10 日に第三回臨時会、11 月 30 日に第四回臨時会を開き、筑西市と共同で計画する新中核病院関連の議案を審査しました。市民の皆さんの関心が高く、お問い合わせも多いことから、議会だより臨時号を発行し、議案審議の経過をお知らせいたします。

議案の概要

平成 23 年度桜川市一般会計
補正予算（第 4 号）（第 5 号）

歳入歳出予算総額に 525 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 173 億 2,228 万 8 千円とする。

新中核病院建設に当たり、事業を推進する県西総合病院組合への負担金。

地域医療再生基金交付金の活用が平成 25 年度までとなっており、25 年度着工が条件となっている。

※筑西・桜川地区新中核病院計画
筑西市民病院（筑西市）と県西総合病院（桜川市）を再編し、心疾患や脳血管疾患に対応可能な 300 床規模の病院を新設する計画。双方の病院とも東日本大震災で被災し、単独再建が難しいため、筑西市、桜川市が「新中核病院準備委員会」の報告に沿い、筑西市竹島地区を建設地として準備を進めている。

第 3 回臨時会 主な質疑

質問

暗礁に乗り上げていた中核病院の建設計画が急変した一番の原因は 3・11 地震であると考えているのですが、市の認識を伺います。

答弁

3・11 の地震で県、国が掲示した話し合いのテーブルにつかしていただきたいと考えました。

質問

県西総合病院長の話では地震の被害を受けている。さらには築 40 年を経過して、早期に全面建て替えの時期にきている。現状では単独の再建は無理である、医師の確保も難しいとのことでした。

特に筑西市との話が決裂して、もし、筑西市（協和町、明野町）の分も負担が来なくなると考えれば、桜川市だけの県西総合病院の単独維持はいつそう困難になると考えるのですが、いかがでしょうか。

答弁

県西総合病院は、両市の負担、平成 22 年度は 4 億円、桜川市から 8 割、筑西市から 2 割があつて赤字となっています。この負担金がなくなれば当然大きな赤字になると考えています。

質問

中核病院を考える会特別委員会で、県西総合病院や新中核病院の民間への委譲の話が話題になりました。県西総合病院が地震で損壊が出ている状況で民間の病院が買収にに応じてくれる可能性があると考えのでしょうか。

答弁

民間への売却は厳しいと考えています。

質問

筑西市民病院の復旧工事が終わつ

て、営業を開始しました。

桜川市議の中には、これだけお金をかけて直した病院を、新中核病院ができたからと言って、すぐに 50 床の病床をなくして診療所に格下げするだろうか。そう不安視する声もあります。

答弁

新中核病院完成後に筑西市民病院の 50 床を残すことはないし、私は認めません。

質問

新中核病院の立ち上げ資金（525 万円）が人口比で 2 対 1 なのに、折半というのはおかしいとの声が聞かれますが、どのように考えているのでしょうか。

答弁

とりあえずはお互い半々で出していこうということですが。その後は、人口比なりで決めることになると思います。

質問

県西病院と市民病院をどうしていくか筑西市長と中田市長は話し合いをしたのですか。

答弁

細部にわたってどういう方向を打ち出していったらいいかという話し合いをさせていただきたいと思いますが、今のところ全然お話しをしたことはありません。

質問

市長は、答弁の中で「民営化していく」ということを答えていますか、それでいいのですか。

答弁

今の段階では話し合いをしていないが、そういう方向性で話をさせていたいただきたいと思えます。

質問

救急搬送について伺います。重病患者のほとんどが、筑西広域以外の病院に行っている事実があります。この面からみても中核病院は必要かと考えているのですが、見解を伺います。

答弁

脳疾患、心疾患に対応できる病院が必要と考えています。

質問

中核病院を無理やり立ち上げて、一部事務組合という形態にしたなら、赤字も4億、5億では済まなくなりません。

その時は、退いていただけるのですか。

答弁

協議の中で、我々の考えをはっきり述べていき、どうしてもだめなら引く勇気も考えています。

質問

下妻筑西医療圏内5市のために新中核病院を作るのなら、どうして県の主導ではなく筑西桜川市民15万だけが負担しなければならないのですか。

答弁

この地域医療再生基金を使えるのは二次医療圏が対象となっていないです。

県が策定した計画の中の事業として

て筑西市民病院、県西病院の再編統合による中核病院の建設という位置付けです。

質問

最初から採算が出ない大赤字覚悟の建物を作ろうとしているのですか。

答弁

それは、これからしっかり協議していきます。

質問

テーブルに着かせてくれと言っていますが、予算が出てくるといふことは既にテーブルについて協議がされているのではないですか。

答弁

事務局のほうでしっかりと調整して525万円と言う数字が出てきました。

質問

中核病院にかかる費用はどのくらいと計算しているのですか。

答弁

予定では総事業費は75億円かかり、国から30億円程度入ってくるので、両市から45億円出さなくてはなりません。その他病院経営の運営経費等が出てまいります。

質問

県西病院には手をつけずに、なぜ県西病院のベット数を200床も持ち出して、下館（筑西市）へ建物を建ててやらなければならないのですか。なぜそのように危ない橋を渡らなければならないのですか。

答弁

無駄な投資をしてどうするといわれないように、県西病院には手をつけていません。

中核病院の方向性を見極めながら対応していきたいと思えます。

質問

事業費を75億あるいは100億とした場合、桜川市と筑西市からどれほどお金が持ち込まれるのですか。

答弁

建設費については30年間の償還で、年間5千万円から1億円の間をシミュレーションが出ています。

討 論

反対討論【大塚議員】

今回上程された予算は、23年、24年にかけて策定される建設基本構想基本計画の経費2500万円の債務負担行為と不可分のものです。

この議案について市長は白紙だと言っていますが、既に建設場所、筑西市民病院の無床化、県西病院の大幅縮小など、いくつかの前提条件を決めています。

また、中核病院、県西病院、市民病院と言う三位一体の病院経営に参画し、応分の負担をしていくということですが。

これまでの二次医療でさえ大変なときに、それ以上に経費のかかる三次医療がわずか15万人の両市でできるのでしょうか。

少なくとも桜川市では経営の見通しのまったく立たない中での事業参画は、逆に地域の一次、二次救急を

担ってきた県西総合病院の統廃合にもなりかねません。

今回の中核病院が下妻、筑西医療圏のためのものであるならば茨城県が筑西市、下妻市、結城市、八千代町、桜川市の構成5市町を調整し主体となつて運営すべきだと思います。

この原案は県西病院の廃止に踏み出す一步に他なりません。

桜川市の地域医療の再生のため、ここで流れを一度止め、正常な流れに戻さなければなりません。どうかこの原案を否決されるようお願いいたします。

賛成討論【菊池議員】

この新中核病院建設計画は、県の地域医療再生計画に基づくもので、

当初は建設場所を巡り、両市で綱引きが行われ、一時は決裂寸前になりました。しかし、3・11の地震が状況を一变させました。

建設場所が竹島地区ということには不満がありますが、県西病院の単独再建が厳しいという状況下では引き返すことはできません。

国が予算をつけてくれた中核病院建設、ご破算にはできません。

以上の理由で、賛成します。

賛成討論【橋本議員】

3・11の地震のあと、中核病院を作ろうという話になりました。

建設場所を巡ってはいろいろあり、議長さんも「命がけて桜川市へ

持つてくる」と会議に臨み、われわれも応援しました。そういう経緯で中核病院計画はできたわけです。

物事を協議する場合は、五分五分で予算を出したほうがいいと思います。

建設するときには、当然ながら人口割りになるのは当たり前のお話です。今回の予算には正当性があるとして、予算案に賛成します。

反対討論【上野議員】

9月の定例議会で私が動議を出し、竹島ではならない、納得できないということ全員賛成でした。

なぜ、県西病院のベッドを減らして下館(筑西市)へ建ててやるのか、桜川市では上野原を第一候補として出しましたが、洪水の心配もない、インターにも近い、国道50号の側近ということ桜川市議会は全員合意したのであります。

上野原に作るのなら折半でもいいですが、下館(筑西市)に作る、しかも市町村でやるべき病院なのか、赤字になれば負担金を出さなければならぬでしょう。

なぜそういう危険な橋を渡らなければならぬのか、ぜひ反対していただくようお願いいたします。

採決

賛成 10

反対 10 結果 否決

※可否同数につき議長採決によって否決となりました。

第4回臨時会 主な質疑

①筑西市市民病院は修繕されたのに県西病院は修繕されないのはなぜですか。

②竹島地区の水害について筑西市側ではどう説明しているのですか。

③中核病院計画がご破算になっても県西病院の単独再建は可能ですか。

④せっかく国がお金を出してくるという機会を逃してしまうのはもったいないと思うのですが。

⑤第二の夕張になってしまおうのではないかと言う声にどう答えるのですか。

答弁

①県西病院は老朽化が進み、耐震補強に合わせて電気、水道などの設備関係の補修の必要性があります。修繕には相当の費用がかかります。中核病院の基本計画に合わせた中で施設の修繕、改修を考えています。

②新中核病院予定地の洪水被害予想水深は1.16メートルと見込まれており、1.5メートルの盛土をすることにより対策をはかるとの事です。

③県西病院の再建は公立2病院の再編統合による新中核病院の整備が不可欠と考えています。医師や看護師の確保や運営費、維持費については有識者の検討委員会などにおいて十二分に協議してまいります。

④平成25年までの期限のある支援で

地元負担が相当軽減されるので、ぜひ活用していきたいと思えます。

⑤桜川市は早期健全化基準の数値も良好で、地方債も交付税措置のあるものを活用し、行財政改革に取り組みたいと思えます。

質問

市民はどういう病院ができるかわからない方が多いようですが、新中核病院とはどういう機能を果たす病院なのですか。

答弁

脳疾患、心疾患に対応できる急性期の病院というのが基本です。

質問

地域医療再生計画で統合再編されて二つの病院が一つになるといふことなのに、なぜ三つの病院になつてしまおうのですか。

答弁

今回の地域医療再生交付金は公立病院を壊して新しい病院を建てるといふのが基本です。

県西病院を縮小し、市民病院を無床化というのは準備委員会の答申が出ただけですので、これから話し合いをしていかなければなりません。

質問

病院建設は賛成反対1票差ぐらいで可決して決めるようなものではないと思えますが、前回の否決後3週間もあつたのに、筑西市とのテーブルに着く前に反対している議員との協議のテーブルにつかなかつたのはなぜですか。

答弁

私は情報提供と話し合いをさせていただいたと思つていきます。

質問

県西病院を120床にするという根拠は何ですか。

答弁

準備委員会での答申だけで確定はしていませんので、検討委員会で協議します。

質問

新中核病院は一般の人は気軽にかけない、紹介状が必要であるということを確認したいのですが。

答弁

一般の診療機関からの紹介状がないと、なかなか受診できなくなるといふことは現実的な問題として浮上してくると思えます。

質問

新中核病院の将来の負担金がまわつたくわからないうこととやっていけないのか。

答弁

ランニングコストについては今後基本計画の中でシミュレーションを作成して検討していきます。

建設部門については30年間で年間5〜6千万円の返済という計算が出ています。

質問

県知事は新聞報道でやれることはやると言っている。茨城県がやるべき病院をなぜ桜川と筑西でやらなければならぬのか。それを知事に頼みに行つてもらえますか。

答弁

県や国を巻き込んで桜川市の医療過疎を解決したいと思います。

討論

相田議長

「これから討論を行いたいと思いますが、私が討論に加わりたいと思いますので桜川市議会規則第54条により副議長と交代します。」
(相田議長は、議長席を降壇、採決終了まで小高副議長と交代した)

桜川市議会会議規則

第54条 議長が議員として発言しようとするときは、議席に着き発言し、発言が終わった後、議長席に復さなければならぬ。ただし、討論をしたときは、その議題の表決が終わるまでは、議長席に復することができない。

反対討論【相田議員】

この中核病院の建設場所については9名の委員で検討しましたが、筑西市から5人、桜川市3人、県から1名でした。

桜川市議会でもいろいろ検討して上野原地区を指定しました。

筑西市は竹島地区を指定してきましたが、1回目の資料では洪水対策としてスーパ一堤防の対応済みであるとなっていました、それは嘘でした。

2回目の会議では単純なミスだったと言い、そして、今度は堤防と浚渫工事を行ったと言ったので、国土交通省へ問い合わせしてみたら、浚

渫工事はやってないと言うことでした。

東日本大震災での教訓で想定外の事に対応している中で、なぜこのような鍋底のような危険な地区に作るのでしょうか。

桜川市、筑西市の開業医の先生も、新中核病院についてはまったく情報が入っていないと聞いています。誰もが今度できるのは総合病院だと思っています。

腹が痛い、頭が痛いではかかれぬ、産婦人科もたぶんどきない、と言ったら大変驚いていました。

区長会の皆さんも9割の人が賛成と言うことですが、その何割の人が総合病院ではないことを知っているのか。市長は説明責任を果たしていないのではないですか。

負担金についても場所設定では人口比、下妻、八千代、結城を考慮して場所を考えた、人口人口と言っているのになぜ半分なのか、すべてが筑西市の主導によって行われているのではないか。

筑西と桜川で年間1300人近くの人口減少の中で今後の借金の返済、負担金を考えなければならぬ。そのようなことで、反対したいと思えます。

賛成討論【菊池議員】

消防団長から救急車の行き場がないので困っている、ぜひ作って欲しいと言う要望がありました。

真壁郡医師会でも中核病院の建設

を要望しています。また、私が出た市民の多くが必要だと言っています。

以上、3点の理由で、国が予算を出してくれる建設計画をご破算にすることはできませんので賛成いたします。

採決

賛成 1110
反対 1110
結果 否決
賛成少数につき否決となりました。



東日本大震災で被害を受けた県西総合病院

編集後記

新中核病院に関して2回の臨時議会が開催されましたが、市民の関心も高く、傍聴の方もたくさん見えました。各議員におかれましても桜川市の将来を左右する非常に重要な案件に、真剣な審議が行われました。

広報特別委員長 川那子秀雄

議会広報特別委員会

- 議長 相田 一良
- 委員長 川那子 秀雄
- 副委員長 菊池 伸浩
- 委員 飯島 重男
- 委員 仁平 実
- 委員 鈴木 裕一
- 委員 萩原 剛志

発行：桜川市議会
編集：桜川市議会広報特別委員会
〒309-1292 桜川市岩瀬 64 番地 2
Tel 0296-75-3111 Fax 0296-75-6633
ホームページ (桜川市)
http://www.city.sakuragawa.lg.jp
E-mail (桜川市議会)
gikai_s@city.sakuragawa.lg.jp